# 慶長以来 新刀辨疑

二

680
.K2

## 上々作列

### 助廣

摂州大坂の住人津田越前守延寳二年より近衛流に銘を切出親助廣も越前守と切申候初の銘にハソボロ有白ヲ秀たる作也

### 真改

摂州大坂の住人井上和泉守國貞々道号也同銘二代あり真改ハ二代目寛文延寳天和中の人也銘ハ類多し名人也

### 國廣

山城國洛陽一条堀川の住信濃守藤原國廣二字銘或ハ藤原國廣と四字にも切慶長中の作多し彫物ハ明壽に倣へり

### 忠吉

橋本氏道弘々子肥前國忠吉也慶長元年上京して埋忠明壽ニつき人となる寛永元武蔵大掾となる忠廣と改め左衛門と称す

### 明壽

山城國西陣住埋忠の祖祖父忠吉ニ師也重吉と切しも有文禄慶長元和寛永中の人也宗吉とも切しと聞

### 助直

本國近江國高木の人也津田越前守々ノ人と成後妹聟となり津田近江守助直と切初ハ近江國住助直或ハ近江守高木住助直と切



Freer Gallery of Art
Washington, D.C.
7638

**一竿子**
摂津國大坂の住人粟田口二代近江守忠綱が肖像也忠綱は近江守と切銘に又あり萬大夫と云彫物の名人世に知る所也

**正清**
薩摩國住人宮原清右衛門と称す初ハ薩州住正清と切後ハ主水正正清と切一葉の葵を切依之當真ず後ハ覚左衛門と呼しと

**安代**
薩州谷山波平の末主馬首安代初ハ玉置小市郎或ハ一平と号す一葉葵を目釘穴の上に切是を一平安代とも云其大の一平是也

**繁慶**
本國駿河後江戸に住す銘は編に乗し書て繁慶也此作者て後物多し後作の銘ハ清堂と切銘多く自然し弱きが如し

**乕徹**
武蔵國江戸の住江州長曽祢村の生なり鉄甲一種也江戸へ移る銘ハ乕と寛文延宝中の人自然く強き物也

**國重**
備中國水田の二代大月與五郎又太郎國重とも切寛文中の人正宗義弘をも移し種々の出来も有肥前に似たる物を善とす

**重義**
山城國西陣の住埋忠重義ハ明壽の子也元文寛永の比の人切物の名人なり作刀物上手なり故に多くはらせ手りの也

**國輝**
摂州大坂の住人山林伊勢守初年は進と切もあり初代藤原國助が四男にして河内守の末弟也



**吉道**
京師丹波守の初代なり此作は太刀ハ多からず平作多し至て上手也若狭守の人也此金に付く銘自然し後また丹物多し

**吉道**
摂州大坂の住人世に祖父丹波と号す京初代丹波守吉道が兄也初代の大和守吉道作も有簾刃の其達人也

**國助**
摂州大坂の住人初代の大和守也銘の形ち小さく竜然し丁子乱文の名人なり一書に云中字鹿削と称す

**照包**
摂州大坂の住人二代目河内守也世に中河内と云丁子乱文遠近或ハ重花丸乱文いろいろの出来有同銘数人又宮崎有

**重國**
摂州大坂の住人越後守の二代目坂倉言之進と云丁子乱文或ハ濤大乱文数し有大さぶれの名人なり

**包保**
紀伊國の住人初代ハ於南紀重國造之と切本國ハ駿河故に世人駿河文珠と云直刃に出来物多し乱刃ハ来の如し

**興正**
和泉包保の子摂州大坂の住人也陸奥守包保とたるを切世の又其後左陸奥守と云銘つぎ有り
武州住長曽祢興里が弟子或ハ子なりと云井上銘形虎徹に似てたりまふとく賤しし

國安

後ち一條堀川の住人國廣ヵ弟なりと云 銘中心尻穴より下にあり 國路とも切しとや

國儔

山城國堀川住藤原國儔と切 二字銘もあり 若し國廣ヵ門人なりしが 後平安城住國儔と切多し 又は越後守と切しもあり

國政

一條堀川の住人也 國廣ヵ弟子にて大隅守藤原正弘ヵ父也 至て上工なり 國政ヵ壮年の作りも知る者少し

正弘

一條堀川藤原正弘 四字銘多し 大隅守藤原正弘と切 國政ヵ子 國廣ヵ孫なりといふ 大隅守受領

美平

山城國住國平 河原藤兵衛の子 近江に住す 故に銘も近江住美平と切 又ハ平安城住大江美平 或ハ大江の英隆とも切 後に六郎と云

上作列

吉道

攝州の住人二代目大和守 銘大和守吉道 二代丹波守也 有作と者重花菊 ヵ子や三品四郎兵衛住の門也 と云

包保

和州住人文殊陸奥大掾 又も陸奥守と切 二字銘或ハ和州住包保 ともを左文字に切

國貞

井上真改ヵ父や 世に國貞といふ作ハ真改ヵ作 後に國貞ヵ 真改を父の存削に出して 名を残りといふ





貞則

井上真改ヵ弟子 銘末加賀守也 作ト云銘末と切 寛文延宝 大和守の弟子ある鍛冶 真改を継ぐ おしへ 真改弟子や真改を継ぐやと見ゆ

治國

井上真改ヵ門人ハ播州寛治國と切 時代古く 但し鍛大業にて 真改や真改を継ぐとせよ

秀興

薩州の住人也 奥和泉守忠重と同人にまして 秀興ハ壮年の銘あり 銘あしく銘平たく候まで見たる也

真了

井上真改ヵ門弟ニ花押と切 肥前平戸松浦家の治工也 数代有と見ゆ 實正出すハ初代なり

吉道

京丹波守の二代目 此作ハ十六よりの葉を切 まず少なく ありし簾又の上手 銘大字に切

國路

京國廣ヵ弟子 出羽大掾藤原来國路と銘す 数代あり 初代ハ上手 あり二代三代ハ大に劣れり 國廣ヵ弟子にて大坂にも住す

國助

攝州大坂二代河内守也 重宗丁子亂文の上手 丁子亂文ハ父の作よりハ大にあしし 初代ハ父子共によく似たり

久道

京近江守源久道 親ハ菊一輝 菊紋切 此久道ハ二代目にて 枝菊を切 湊源にふれ 大なる作あり 父子共作多し

**國光**

本國備中の者ニて摂州天満及び江都在ニ又住故ニ天満水田或ハ江戸水田と云細鐵ニて天満住と切しニ出来物多し

**正則**

薩州住正則ハ正清よりハ古く見ゆる物也薩摩打の中ニてハ鍛細ニあり善し正房ニ一敷ニしん

**國平**

薩州住國平奥播磨と云地鉄細ニしてあし鑢目よく也出作國人の賞美多くして江府ニても称ニあり

**國貞**

薩州住人ニして奥平左衛門と云國平と此弟人ハ出来ニ一人と見ゆるより作風ニ同し出来ニ新刀見ゆ

**正房**

薩州の住正房も田伊豆守又播左衛門と号スニ薩摩鍛冶ニて地鉄細也此作正清の上手も並べ能物ニあり薩州打ニ也多く有し

**國平**

井上真改ヶ弟子ニて銘國平作と切業多し此作中心の仕立見事ニて世ニ云大和遠江也川端作と云和泉守國義ヶ父也

**吉道**

大坂二代目丹波守也銘大和遠藤ハ切らず藤原某名ニ見えし也至ても少なし

**祐國**

紀伊國の人ニて大坂ニ住す花房備前守源祐國と切大龍文ニ彫賞美す直刃乱刃共ニ上手也





**久道**

京師ノ五鍛冶の一人近江守源久道と切ニ一橋業作切ニ三代目迄も業ニ一橋と付る同銘三人ニても相分也二代目前ニ見えたり

**忠綱**

播磨國姫路の生粟田口國綱の末葉の係を云代し粟田口切以て称号とす前近江大掾より近江守と号浅井氏也

**忠吉**

肥前國住陸奥守藤原忠吉ハ三代目也万治三年陸奥大掾寛文二年陸奥守と号ス新三郎と云此忠吉ハ忠廣と改めす

**直道**

摂州大坂の住人初代丹波守ヶ一人也丹後守藤原直道と切寛文延宝の年号業一分字を切後ハ兼道と切ニ三代吉道と称す

**正俊**

平安城住正俊ハ初代越中守藤原正俊も同銘数代ニ有藤原と切業長の年号あるを賞美す

**信吉**

大坂の住人ニ号越前守源来信吉延宝天和貞享の比也京五鍛冶の信吉ヶ弟也封の名手利ニて出来いろいろあり

**包保**

摂州大坂人也後信州松本へ移る壮年の比ハ左字ニ陸奥守包重とも打又右銘ニ包保と切号ニ陸奥守ニあり丸太夫と云

**忠廣**

肥前國住近江大掾藤原忠廣ハ武蔵大掾ヶ子ニて二代目也壮年の比ハ忠吉とも切平作郎と云寛永十八年より近江大掾と称す

**忠綱**
摂州大坂の住一竿子と号す二代目近江守忠綱也彫し造ると云
大に文の上手也

**金道**
山州の住来五鍛冶の一人初代伊賀守金道ハ寛永中の人なり
同銘数代あり初代ハ古作の如くにして上手也

**正近**
薩州の正清か門人也森作と云父か作よりも劣る所なしすこぶる
鍛へよき物なり

**國重**
摂州の中河内か門弟池田鬼神丸國重摂州住國重と切る多し江
戸にも住し又奥州岩城及ひ羽州秋田にも住す薩州にもありしと

**國康**
大坂住河内か弟伊勢守國輝か兄也肥後守國康同銘二代有初代
ハ上手なり

**忠行**
大坂初代忠綱か弟子摂州住藤原忠行と切同銘数人有其名の名
人あり二字銘をよしとす

**國包**
奥州国分寺林住山城大掾藤原國包也聖鍛冶自称く柾目の名
手にて尺事なり

**清信**
摂州大坂の住池田市左衛門尉清信と切此作多く見るハいいると
有丁子亂文ハ出羽の初代に似て有大和守吉道に似たりと云者ハ非也





**右作**
摂州住鈴木五郎右衛門尉宗栄五郎とも又右作ともいふ住吉
行小あしす備前ようにも打

**長旨**
武州の住小笠原昌斎長旨或ハ長宗と切聖鍛柾目細かし和泉
又の名人なり小笠原孫九郎と云池端に住二代目ハ信濃守と云

**綱宗**
仙台国宗庚遊戯の作也銘多し有後物なし安綱か作と同し
かるへし

**正廣**
肥前国河内大掾藤原正廣初代の河内是也寛永十八年河内大掾
正廣と切代々正廣名乗と銘す後に河内守と云

**行廣**
肥前の国出羽の大掾寛永十六年より名乗切寛文二年出羽守
に任す孫七左衛門吉代々二男にて正廣か弟也初ハ康廣と切しとかや

**重次**
山城国鍛冶の住人にて慶長中の工也二字銘多し世人是を知
る重次と書す聖鍛にして古今鍛の如し

**國重**
備中国藤原住國重大月與五郎か祖父にて水田の元祖也末への
水田よりハ尋常の出来多し上手なり

**國重**
備中国水田住國重二代目三郎兵衛と称す同銘数代此作多く同
し

**忠國**

肥前國住播磨大掾忠國ハ武藏大掾忠廣か弟子廣貞か子也同銘數代あり初代上手也

**國次**

薩州鹿兒島住藤原國次此作あり銘小ふりに多く白染し國平か作に似たり

**國重**

備中國水田住國重ハ四代目まて與三郎か子大月傳之丞と云小分三郎ふとてしける作もあり

**忠廣**

肥前國近江大掾忠廣五代の忠吉也元祿六年より近江大掾となる此作父陸奥守に似たれとも猶おとれり

**國虎**

東奥會津住人相模守藤原國虎ハ井上真改か門人なりと云二代もありしか不出来なるも見ゆ

**宗重**

攝州大坂住人宗重ハ初代也播州姫路或ハ若州小濱にも住せしと也多田國貞と称す津田助廣か門弟となりしとも云

**國貞**

攝州大坂元祖和泉守藤原國貞ハ元和寛永正保慶安の比の工也井上真改か父也堀川國廣か弟子なりと云

**助廣**

大坂住人津田越前守か父也攝州住藤原助廣と切後ハ越前守を切出子の作見分る所あり





**輝廣**

尾州の生まれて後藝州に住す肥後守藤原輝廣作と切此作ハ播磨守輝廣か父にて福島正則の抱工也といへり勝れる上手なり

**包貞**

攝州住越後守包貞初代の銘ハ攝州住藤原包貞或ハ越後守包貞と切なり二代坂倉言之進事の銘ハ大ぶりなるあり

**安定**

薩州住安定此作ハ寛文延寶より古く見ゆる物也あり銘一面大きくて黒みかゝるもの有

**為康**

攝州大坂住富田陸奥守藤原為康或ハ紀州住為康と切初代ハ紀州和歌山にて越中守と號す初代為康ハ越中守康廣か子にて富田五郎左衛門と云

**歳長**

京師の生まれて勢州津住人陸奥守藤原歳長と切京の山城守とも見へ弟子なり

**弘幸**

平安城住藤原弘幸と切堀川國廣の弟子凡其長元和寛永の比よりへるへし出来物也刃文出来も國廣のことし

上之中作列

**包宗**

攝州大坂住上野守藤原包宗ハ地鉄至て細く鍛白くて佩刀となす至て物優なり中心尤も丁寧也左ニ銘小しても亦事物有ひとつと云

加卜
大村加卜銘いろ〳〵に切る編に委し甚に不焼あるゆへし又せ名銘地の内一面にやきしもあり

重包
筑前國住國一家原田出雲御尉重包此作に乱文ずみ乱文ずみ細丁も小銘自出て深く火が濁り能澤出る者上手也つに藥あるを切らぬもあり

紀充
河州横小路武八和州郡山に住す大坂鐡中直包國の子筒井越中守紀充也作八大乱文直刃濃く鋒にも有て見事也

助宗
摂州住助宗ハ津田出羽の弟子也信州住出羽守ハ別人也此作都て津田の作のように見て大乱文あるよし

吉信
山城國住摂津吉信と切此作明寿が一人あるとき銘似たり直刃ばかり見るなり

長幸
摂州の住人也摂津國長幸作之或ハ多く銘戊と切しも有此作業焼よくして地鉄乱文の名人也標の出しはよろしからず

重國
紀伊國の住也於南紀重國作之と切二代目金助と云其作多く直刃あるが光を勝す地鉄細かにして位有

金道
京伊賀守藤原金道と云日本鍛冶惣匠と切菊花紋多く二代目とすも作地鉄さゞらも見して大乱多く……



方清
長州の住人也玉井刑部左衛門尉二王方清と切を賞美す寛文中の工なり地鉄細かにして小銘自深く大様にて花やかに出来おもしろし

廣政
摂州住人近江大掾藤原廣政ハ津田出羽が一人也津田廣政と切しも多し此作津田が風ありて上手也鐔のある物ハ重しと云へり

康廣
紀州摂州若狭住紀伊守康廣或ハ紀伊國康廣大坂とも切菜を付るも有國信中古土佐将監が銘す為康廣が父にて大坂石堂の初代也又京師にても住す

兼若
加州住藤原兼若と切此作地鉄細かにして一面に肌あり流れ出来見事なり乱文は出来あるもあり

信高
尾張國の住人也伯耆守藤原信高銘住居山麓常に作土に切此作地鉄細かにして直刃濃く大乱文まじりも有は直し大乱文ハ稀なし

信高
二代伯耆守藤原信高也此作父に同しく地鉄ハ少しあり見事也父よりハ劣れりや

安定
武州江戸住人大和守安定と切此作地鉄よく見事なりとして格を深し沸直刃大乱文いろ〳〵有富田と称す石堂の一家なるべし

安倫
奥州仙臺住安倫と切此作地鉄安定に同し綱宗公の作多くハ此安倫が作りし所多しと云上手也

光平
是一
勝國
安國
包國
助高
兼道
輝廣

江戸住日置光平又ハ出羽守法橋源光平等銘有し能切作多く
三ツ胴まで裁断の上ゝ業物の如し総じて刃文直刃ゆへ少し

江戸住武蔵大掾藤原是一又左近是一と切光平か作と同しく大乱
又ハ錵多く見事なる都て是一の刃文に石堂といへれと云

加州住藤原勝國又勝國文伊豫掾とも切此作石堂か刃文に庵ありて
名地鉄強く上手や藤原の末にて刃味よき業物より今に七代目続く

薩州の住人也波平安國と打銘義経也地鉄きれいに刃文をもして一花銘
有ひるたけし地金よろし

摂州住包國大坂住大坂包國と切丹波守か一人也此作ケ丁子乱文
大乱文直刃又は乱刃有包にて上手也出羽大掾包國と云

津田助廣か弟子摂州住助高と切丹後守にて備後福山へゆきし此作ハ
師の風有て出来能し上手也中心ハ鑢筋違也

丹後守の二代目也菊一をハ切し事あり江戸へ下り此作出来能し
直刃にも乱刃ハ直刃あし大乱文多し出来直の乱文にて似たり

越前住人播磨守藤原輝廣と切其後播磨守なるか地ヲ子細の銘
有りて上手也大坂より越前へ来る又大





弘包
元道
則廣
歳長
康永
兼光
國康
貞次

摂州住人八左衛門と云能登守弘包和州手掻包永十一代孫と切
と其後ハ二代目ハ江戸へ来りし業物也其の上手也

山城國住源元道と切丁子乱文の上手也此作地鉄奇麗にて丁子乱大
坂初代も同様の丁子乱文に能似たり備前長船の如し

摂州住丹羽相模守藤原則廣と切紀州にも住せり此作地鉄強く
勾配し匂深く能しの乱刃も有

平安城出羽守藤原歳長若狭守二羽左近歳長切し也此作地
鉄細にして丁子乱文又あやすぎ見し

摂州の住人也八左衛門と称す河内守藤原康永と切初代康廣か弟
子なり師也此作地鉄細密に匂深く大乱文ありて見事にて能し

三品但馬守兼光二代目丹後守兼道か一人也源兼道門弟と云切
此作地鉄細に大乱文多し丹後守にハ出来宜

紀後守の二代目也刃文の乱のひたりあしき事て其の作にハ多く
似たりて丁子乱文ハ少とまり

摂州住貞次頭ハ伊賀守貞次と切也井上真改の弟子にて目貫も
貞則か弟也

**輝政**

攝州及ひ播州に住す後ち播磨大掾輝政と切伊勢守國輝ハ其子也故に段ハ和泉大掾國輝と打也二代目ハ常より数代有

**兼先**

團州の住人也初代國則住藤原兼光と切すて銘なるや重き事の上手也鉄細かにして小錆白らみて強く見ゆる事なし

**吉行**

播州住後土州へ下向す陸奥守吉行と切り土佐にて初代大和守吉道の弟也大和守に能似たり子孫ぶ不出才物多し

**吉國**

播州住人也後土州へ行く上野守吉國と切号も大坂伊代大和守吉道弟子まて吉行か兄也作者に同し

**重包**

筑州住源信國重包地鉄細かに白く上手なり末四代ありとぶ別人にて古く見ゆる

**吉廣**

紀州國住伊勢大掾藤原吉廣と切也真面をよしと云ハ龍文ハ賤しき出来多し

**兼廣**

肥前國住大和大掾藤原兼廣と切此作も古ハ同し二代目ハ吉吾江戸に出て上手也此作も真面をよしとす

**包定**

和州白木来源包定江戸の住とうし銘あり地鉄細かに能く出来り其後銘小錆もしほくして廣く見ゆるなり





**忠國**

山城國住人後因州へ下向す信濃大掾藤原忠國と切此作地鉄細又関亀文の如く又ハ丁子亀文まて子孫数代有と見へたり

**吉貞**

筑前國源吉貞ハ信國の一家也小錆白小亀文まて上手也信國一類ハ上手多しといへとも此作出来物多し

**吉包**

筑州住信國源吉包此作右に同し重包か作に似て小亀文のみを入そろひて見る事あまたなる者

**重宗**

筑前國源信國重宗此作右に同し別て此作まハ諸作物多く播磨とすべき物あまたる者

**國重**

備州之住國重ハ水田大月市之丞と称す此作大与不て似て作銘あれして上手也数代連続すといへり

**常光**

若ゝ号播常光ハ江戸の住人石堂の一人也此作地鉄に錆て白く上手也鉄細かなる作あり法とも云若常光か流号と云説も有

**國重**

備中國水田大月市之丞ハ源左衛門と号す大和守ヲ受て後山城大掾又ハ来小錆有て上手也明暦比江府ハ下る

**貞行**

豊州高田住藤原貞行四代銘の寸鉄の上手也此作まハ錆を好みて白らみて出来よく地鉄をよしとれ

**國武**

中河内國出の人大和守吉原國武是の作ハ能大坂上野守吉原助包とおなし

**國益**

土州住國益作と切又上手大坂坊打地鉄細かにして匂深く小乱刃よしとて見事也大坂初代丹波守吉道か子也

**金道**

山城住人和泉守来金道の初代大法師法橋来栄泉也此作地鉄細かにして中乱刃ハ能く出来大乱刃の地鉄ハざんぐりと見ゆ

**吉國**

薩州住法城寺吉國此作地鉄引張て深手前のごとくあり銘に乱匂深くて上手也清体も肥後守吉次ハ子にて根本金も衛と云ふ

**正成**

東の方の云衛正成ハ備前國の住人也正次ハ又正憲とも打此作地鉄細かに匂深く上手也事未正宗ども切に此正盛と切ハ二代目の物にて候

**綱廣**

相州住綱廣ハ地鉄よく堅として深ひ有様匂深く廣直刃も有
新代相州住綱廣と打りて有も有

**綱廣**

伊勢大掾藤原綱廣此作ハ前文同し新代なりと見へたり元祖ハ天文の比の人と見へたり

**鎮政**

河内國出張住人本國豊前の上紀州にも住す後大坂に藤原鎮政と切此作匂深く地鉄細かに業ものなりや



**正綱**

粟田口藤原正綱ハ初代忠綱か二男一竿子か弟也地鉄細かにいつもみ丁子乱刃多し

**包綱**

粟田口藤原包綱初代忠綱弟子也江戸にても住す此作地鉄細かに丁子乱大乱刃見事に有り

**康綱**

初代越前國康綱大坂にも住す多くハ近江守也康廣にハ劣る當つ肥前康綱と切しも有

**義忠**

和州の住義忠ハ左銘也地鉄細かにをとなしくて銘向あとて上手也細直刃乱刃も有て来代國の如き物の作り

**國富**

日向國住人國富ハ井上真改の一門也地鉄細かに小錵沸附あって白深し錵く出来るハ其段にかなり

**國時**

肥州住國時初代藤原國時打まへも於いても打し也地鉄よきかに錵白有中乱刃多しのまま大乱刃又ハ出来物多し

**國定**

備中國水田住肥前大掾國定ハ出羽大掾國重か子也此作ハ地鉄多し初めハ出羽大掾と切る也

**國維**

大坂住吉重か後の銘也相模守國維と切地鉄ざんぐりと見ゆる有て中乱刃多し

**祐春**

摂津住源祐春ハ花房祐國か弟也地鉄よろしからすと雖國に似て刃文のしまりなく乱多し小沸美濃守源祐春と切たるもあると称す

**一峯**

江州住人作られ入道源一峯地鉄ざんぐりとして強く荒錵有て出来ばえよからす出来なし後ハ江戸赤坂に住す

**一峯**

右一峯の子也吉四郎といふ江戸赤坂に住す出来ハ父か作に劣るやうす物也

**國正**

伊勢國宇和嶋住人藤原國正初代上手也刃文によくして小錵多出来よろし数代有之國道代々あるか代々に至て連綿す

**延房**

丹波守藤原延房地鉄細かに深ひあつて小乱に似たる小錵有上手也尾張名古屋の住人にて其上より共に子ありと見へたり

**正勝**

大隅守藤原正勝未た知らす播州の正弘にてハあらさるべし後化大和守の錵出来よくて別作あるへし

**康継**

越前康継於武州江戸以南蛮鉄作之と切葵紋有な葵下坂と号す地鉄細かに小錵有て白深し鍛よく切れる也

**國正**

江戸住法城寺但馬守橘國正と切此作地鉄よろし互の目乱有て小錵荒錵多くして上手也錵出来て代々連綿す



**國光**

江戸住法城寺橘國光と切此作右の國正よりもおとれる上手也ふ（…）て荒錵ある物也

**正弘**

江戸住法城寺正弘と切此作も右に同し流細り白深し中直刃小出来りの多し

**吉正**

武州住上野守吉正と切此住直刃強く出来て地鉄りんとしてまるもの也

**國清**

越前の住人也山城守藤原國清と切菊に一と彫まて切此作ハ地鉄よくてつまりて細直刃乱直刃ともに刃文あハおもしろし

**金道**

京和泉守藤原金道の二代目栄泉か子也此作父よりも地鉄ハよろしく見ゆれとも大乱文にハ花やかなる出来有

**正俊**

京越中守正俊の二代目ハ兼とも藤原兼重とも此作ハ地鉄つまりて白深く丹乱文にして強き出来多し

**兼増**

大坂住人播磨守兼増と切此作地鉄よろしく乱文小丸え白煮てもけし物多し

**包道**

大坂住人伊賀守源包道一書に中川包康の一人息子長左衛門といふと称包信包則越後守包貞か弟也包昌を辰左衛門と号す也包昌後包道二代歟

## 重虎
摂州住源重虎と切ル作地手堅く見へて不しかの気鍛ある類し
紀物也津田重之衛門云

## 秀辰
山城守秀辰大坂住人祖後守家切とも住重か子にて元禄比也
二代目ハ江戸へ下向して本橋呉町ニ住す父より劣れり

## 宗重
大坂常陸守宗重の二代目嘉重と打江戸にも住す作父ヶ作ニ
似たり地鉄のうるはしハおとれり

## 正道
大坂住人播磨守藤原正道と切ル作地鉄細にして小錵匂ありて
匂深の生れ又似たり

## 國幸
摂州住藤原國幸ハ堀川國廣ヶ弟子也小地鉄細ニして小錵
匂ひ有て但錵の初代國正に似たり播州尼崎又其ニも住之和寛永比

## 在吉
平安城住阿波守藤原在吉國廣ヶ男子也作東物の作まて八勝
出来の物也

## 則定
平安城住藤原則定と切ル作地鉄むらくりと見へて小錵有小錵匂ひ
有て中錵文直刃多し

## 助宗
信州住藤原助宗作地鉄強きにて小錵匂有て忍常錵文丑亘
刃も住有て古作と見ゆる物也小十郎後仁左衛門と改

## 則房
藝州住源則房作と切地鉄細かなるにしく小錵匂有て住あり紀
州初代の重國ニ似たり

## 菊平
加州住源菊平ハ地鉄細又つよく錵匂有て上手也刃古しもある
もの也

## 安吉
筑州源安吉作地鉄細又錵匂ひ深く錵文刃多し出来も古作のごと
き物多し

## 吉次
信國源吉次作地鉄も又同し小錵文乱刃出来有文細直刃
ありと二郎ト云

## 國綱
阿州住源國綱作地鉄細又あし錵小錵匂深く中錵文多し

## 國吉
越前住法城寺橘國吉作地鉄きびしく強て錵匂深く有て
堅く刃又出来物有上江戸と麻布神田ニ住す和泉守子元禄比

## 助重
出羽守照重と刃の上手也中河内ヶつく中丁子錵文小乱し
交ル錵文の深きもの也

## 助信
出羽守源助信実根の上手中河内ヶ弟子也作右同住也小丁
子交り也鍛小林ハ左衛門と号す延寶比

**國助**
大坂四代目河内守也〆近江守まで國輝子と改む作地鉄ハ
細かにて作は強からし尤白も有相すハむこれ有

**金道**
東都に住越後守藤原来金道と切地鉄ざんぐりと鏡白有て
中ほど文ます有或は慶長の比より堀川住とも同人ともいふべし

**長吉**
平安城住長吉と切此作地鉄能中直にて乱文多し白深く上手也
一書云表川ニ住也無開時に彫物など能す
三ノ井豊後守藤原来國義ハ東の信濃守信吉か弟子也
吉か兄にて東江州ニ来て小唐にても伝す鏡有て銘有と云

**義國**
三条堀川住豊後守義國と切地鉄鍛に打迄深き乱文多し小銘白
有り

**信吉**
信濃守藤原信吉ハ三ノ井國か弟子住吉也 若狭守信吉ハ深信吉よ
早いは出来物多し上手や

**則國**
平安城住則國此作のる住集ヲ委し此作を見ず様れたる上手と
いふ細小て能く度ふ無く

**金道**
三条堀川住金道と切此作地鉄出来也伊賀守の後に似て越後守并ニ
水手の作細見る格ふ所目代伊州を経て三条堀川と切み越後に住す見



**國路**
出羽大掾國路二代目来の事なし此住地鉄細かに鍛白有て大乱文
多し

**廣賀**
伯州道祖尾廣賀と切地鉄細く白有伝有乱文ハ大に紀
州弟多し

**廣吉**
伯州住道祖尾孫十郎廣吉此作者ハ同じ小乱文ふして白深く見
事ある物有伯耆國住と斗も切しや

**廣賀**
伯耆國倉吉住見田五郎左衛門廣賀此作者ハ同伝有にぶし専ふして
白深し伝有よりも地鉄こまかけ見ゆるや

**廣賀**
伯州倉吉住見田五郎左衛門廣賀并作者ハ同し此の紀ありして伝
有乱文多し廣吉とも切

**廣賀**
伯州倉吉住廣賀此住の事なし然て伝有乱文ニて一通りに
この伝有に替るといふ文格別の物也見田助左衛門と云
伯耆國住廣賀作と打此作者ハ同し見田助左衛門と称す乱文も
多し

**兼重**
上総介藤原兼重和泉守といふ同人と見ゆる地鉄ざんぐりとさりく
として鏡多し後廣賀なし

金藏
國重
忠吉
忠吉
金辰
繼平

美濃國住人大和守藤原金藏此作地鉄強く鋩白く有て刃もまた直又寛文後江戸へ下向して神田ニ住二代目ハ常陸守と切

備中國水田於備前出作之此作地鉄つよくしてあら錵かゝりて見ゆるや

備中水田國重十郎於阿波國住して此作地鉄細ニ水田の内ニて八幡帯の出来多し

肥前國住人土佐守藤原忠吉此作地鉄細ニして中直刃又ハ亂文刃もあり上手也

近江大掾藤原忠吉此作地鉄細ニ直刃多し肥前の四代目忠吉孫の作也

肥前國藤原忠吉後ニ近江守ニ成てあまた刃も有此作ハ七字ニして古作見ゆれハ二代目壮年の作ニ相違無く

因幡守藤原金辰此作地鉄細ニ白く亂文刃多し関鍛冶也

越前國の住人ニて後ハ江戸ニ住子孫まで續す近江守藤原繼平と切二代目康繼か人をとし此作地鉄細ニ沸ニ亂刃多く小錵多く白沸し初代康繼ニ劣らず



上之下作列

金道
正俊
吉道
信吉
國武
法道
刻國

京都伊賀守藤原金道の二代目日本鍛冶宗匠と切大銘也此作地鉄ともニ強く大亂文直刃其外刃ハおよそ同じ

京城中吉正俊の三代目業物を切関亂文のごとくにて地鉄強く出来多し四代目ハ別ニ説有り

京丹波守三代目此作地鉄つよく直ぐ刃ニて大亂刃又十六菊の業物を切る上手也藤七郎と稱す大亂刃の直刃小亂刃の多し

攝州住信濃守源信吉父は藤原信吉弟子ニ有る人より乃近江守久道此代吉も鍛冶の一人なりしが敷遠ニて此刻地肌も宜しく出來てい々るも也

平安城住國武ハ堀川國廣か弟子ニて上手也一書ニ江戸初代出雲守吉武か師なると

城州住來法道ハ大坂ニても打しと也後ハ城州西宮向日明神の近ニ住す銘の如く地鉄初代と心得べし小錵ニして直刃銘あり

平安城住刻國京刻國ハ後同前守藤原へ下向す是又白沸く亂刃ニてうつくしく地出来多し

## 國吉
和州住越中守藤原國吉ハ郡山乃住人也此作出来ハ河内守に銘多
く残あるゆへ吉に似たるもの也

## 國助
河内守藤原國助ハ大坂中河内か父也京國廣か一人也一書ニハ伊勢
州住河内守藤原國助后ハ石堂住初代藤原國貞と一人にて中河内か父也と
石見守國助ハ初代國助か弟後江戸へ下る小林源之進と称す一書ニハ
伊勢神戸國助ハ石見守也と云是中心の形銘書体をいふなし

## 國次
武蔵守國次ハ河内守藤原國助か門弟子河内か弟也丁子亂文大亂
文いろしくよして花やか出来にて此鍛ハあしき方也

## 忠行
大坂二代目播磨守忠行か父か如くにハあらねども初代直刃ハすぐれ
たる上手也諸長刀多し

## 忠行
粟田口摂津守源忠行ハ忠重か弟也忠重と称す此作出来
おほし銘長刀の上手なり

## 忠重
播津守源忠行播磨守忠行弟子江戸へも下る此作も出来同し此二
代ハ都て出来の方を宗とする也
摂津守藤原忠重ハ初代忠行か弟子也此作ハ地鉄
至て強く不乱葉錵つきて下不乱といへども厚き物多し





## 康廣
大坂二代目備中守橘康廣此作大亂文丸多し為康か子播磨國へ
と称す四代目も備中守橘康廣と切也

## 為廣
播州住橘為廣ハ初代康廣か弟子也此作も若丈ほし石堂の一家
ハ多く葉刃也稀地鉄荒橘たか切實ニ好也

## 昌富
播州住昌富後ハ江戸へ下る此作地鉄つよく志まりて莫銘小錵
多く上手也

## 貞廣
高柳加賀守藤原貞廣ハ大坂又住本國越前也足ハ本國のまゝも
あまた銘有深く錵也か出来物有

## 有續
神力地有續ハ若狭守貞廣か子也父か作よりも住吉なる程なし
地鉄ハすこし劣るべきか落左衛門と称す

## 為康
相模守為康ハ大坂の住人也出来ハ別人也有深く花房依
おほくあり伊達にて出来て出来ほどよき物也

## 定重
大坂住人也源定重と切 秀吉公の鍛冶也直刃にて未だ初大坂にて
正弘にも似たる物有上手也於難波江住源定重作又濃州関住於大坂住切

## 祐定
備州長船住祐定永正九代末孫也と切大坂に住す今二手ニ切とめ
此ハ至て祐定同住出来多し

氏房
尾州住人飛騨守藤原氏房此作地鉄きよらかにして強くいさぎよく刃粗
ひゝ大亂文多し

氏房
若狭守氏房尾州濃州両所に住す此作地鉄潔くつまり白み深く
関ぶりの大乱ある物多し俗に薩州と云

盛道
武蔵守藤原盛道是も尾州住人也此作地金ハ寿命の一流に似
て直刃のまゝ湾とすべし乱文又ハ勝しき物多し
尾州住藤原盛道濃州にも住す室屋冨有て文珠平子重
道後阜一本より二代目駿河守ハ其名此之夫より武蔵駿河守と云其名数代有

正全
豊後守藤原正全美濃國住人此作出来の甲乙有て一概にハ直
又強くして古剣の如き物有尾州出来にも同銘有

廣重
因幡守廣重ハ其左に射緒廣重と切武州下原住人也此作地鉄
細く中直刃にして白み深く御刀に宜き者也

義助
駿州嶋田住藤原義助此作地鉄いさゝか荒錵地刃一面にて其名誉
のことく此物有真斎物ハ稀なる

家包
駿河國住藤原家包地金細かに錵有てて直刃の上手なり乱刃ハ
いかにも稀なる





助宗
豊後藤原助宗ハ駿州住人也此作地鉄柔にて細く強く錵白淡く
直刃に物あり

助宗
播磨大掾藤原助宗ハ右に同し地鉄濃かにして白み深くて強く重
の貞行の如き刃の手上手也

卜傳
常州水戸住坂東太郎藤原卜傳ハ関東の武蔵に古刀の後の
銘を書つらねし時代に物多し後久の評有之へからず

廣助
駿河守嶋田住廣助駿州嶋田也此作地鉄こまかに小錵白光て
直刃多し

國照
伯耆大掾藤原國照ハ江戸法城寺也地鉄細にして至て錵小さき
多く白淡く刃の上作なりといふべし

東連
武州住石堂藤原東連此作地鉄強く細にして是一ヶめく白淡く
物能切る也初代の守久まてハ左衛門と称す寛永比也

守久
武州住石堂ハ左衛門尉藤原守久地金細く強く白淡く三平杉形牙
刃逆足多し石堂の銘ハ錵なく白みを其上に至東連ヵ子也

吉武
出雲大掾藤原吉武ハ江都の住人也川手出雲守ヵ切る地鉄和て
細く小錵白淡く江戸打の中にて八錵ならず

吉正
上野ノ吉正武州住とも云ふ切銘善定兼吉カ末葉ニ係左衛門尉と云ふ井上真改ニハ稍劣てる物あり

廣國
武州住廣國ハ鍛之も至極上手ニ似たりとも云ひ真ニ劣れり其銘多くして大慶ニ多し武州ニ廣國と同人也

安國
武蔵太郎安國ハ江戸ニ下りつ弟子と来しとも是あるべし廣國ハ又ハ本村ニ多し廣國真改ニ及して其銘互ニもあり

守正
和泉守源守正ハ千手院と申し八別人と見へたり地鉄細かにして小銘白く深く秦カ久ニ似たり

安永
武蔵国横山の住人あつくハ兄弟ニして地鉄細かに強く焼刃を評せしめく武蔵ニ探出廣ニ似たる出来真改の上手也

照門
丹波守藤原照門ハ美濃関鍛冶也鍛美を盡し地鉄至て強く銘荒し勢州桑名ニても鍛ふ二代目ハ丹後守と切

吉門
越前守藤原吉門者ニ同し武蔵ニハ後水戸に下りて住す後ニ作よく照門ニ似たり

兼信
陸奥守藤原兼信ハ美濃の住人也此作地鉄きよらかに小銘白く深く関の新刀の中ニてハ稀に見る上手也神戸ニ住す

政常
相模守奈良太郎兼常が末武蔵ニ国常上野ニ國常住く進カ子也相模守政常と号し同銘二代有小刀の上手也

政常
美濃ニ藤原政常右刀匠ヵ子也是又小刀の上手也刀脇差ニ至てハ公が作すくハ劣るべし其真改多し左衛門太郎よりハ二代目也

清宣
近江守藤原清宣此住地鉄至て強く細にて焼刃匂深く鍛所多く刃中白く深く上手也

清宣
備中守藤原清宣者近江守ヵ子まて平出来あ似て能出来する真改ニハ清宣真改ニ似たる者

兼定
奥州住兼定ハ志津三郎兼氏十つ代信濃守ヵ兼定カ孫 蒲生氏へ仕て二代古川兼定ハ兼定の弟也和泉守ハ兼定ヵ子ニて数代連綿す

長道
陸奥大掾三善長道ハ奥州会津の住也地鉄の志由空ニ勝ましてハ小銘白く深く中真改又ハ小兆文末ニもの多し火加減よき方也

道長
陸奥会津住道長此住の信も云の長道同住よして地鉄脚ヵ乾きよりて墓書も亦真改ニ小兆ニ及する多し

政長
奥州会津住政長若松蒲四郎ともいふ法住右ト同し虎徹小兆文及多し古ニ人の作ニ似たる物也

**兼先** 濃州住藤原兼先ハ兵右衛門と号ス此作地鉄細ニ強くしてさし上手也乱文ハ皆焼のめくれ出来て上手ニハあらず

**正綱** 播磨大掾藤原正綱ハ伯州倉吉住弓削彦三郎と号ス此作地鉄細ニ又白浮く鍛多し

**幸昌** 紀州若山住幸昌此作ハ地金細ニして白浮く盗多し乱文ハ焼出シの風あるで見事也

**廣賀** 伯耆国住道祖尾七郎左衛門尉廣賀此作地鉄細ニ小錵白浮く小乱文又伯耆国見田光忠光重ニ似て地錵白けたり

**氏重** 運河住人大和守藤原氏重ハ初代也末々ハ氏家と切也二代目も上手也此氏重ハ大坂の宗重ニ似たり

**祐定** 備前国住長船七兵衛尉祐定作と切此作地鉄細ニ匂きつよく錵有といへども多く白浮く国風の大乱文出来物多し

**祐定** 銘者ハ同し備前与三左衛門と称す此作至ニ似し白浮所まで乱刃あるも物ハ善とす或ハ大和大掾ヶ壮年の作なと云り

**祐定** 備前国住長船源左衛門尉祐定ハ其中の人也此作ハ中直刃あり京乱白浮地物出来乱文丸みあるものハ末ぶ見へし





**祐定** 備前国横山上野大掾藤原祐定初代大錵也此作地鉄強の中白浮く身けて白浮く大乱文又ハ直刃ニして出来候処初心もあり

**国宗** 備前国山城国宗ハ藤右衛門と云備前三郎国宗家系乳此作地鉄細ニ同じ出来の強も高く無ゆり直刃多し

**守吉** 備前吾住守吉此作地金細ニ強く白浮く多門兵衛正盛ヶ作のいふ物也

**為家** 備中国早部住河野理兵衛尉為家当部為家の初代也此作地鉄細ニ白浮く匂き鋩一面ニつきて上手也あさひ小田の一人也

**為家** 備中国早部住為家此作地鉄細ニ強く浮く乱てあり鋩肌て白浮し部の大乱の鋩ハ少々あり

**為家** 備中国河野與左衛門為家此作の姿も都てあの二人のものニ同じ大乱鋩のあまり身きたる国ハ少く貴ずる物也

**為家** 備中国早部住為家ハ與三右衛門と称す此作も名ニ似たり大乱文又ハ直刃多し

**国重** 備中国水田住国重ハ大与左衛門と云初代の大左衛門ハあらしく氏又ハ大乱文河也あら錵多物也江戸ニも住す

**國重**
備中國水田住國重ハ大月与三右衛門と号す此作も出来よ同し物打の下ニ銘あく鍛えより切先まて鋭きなる切れもあるとす

**國重**
備中國水田住國重ハ俗名市之丞と云左衛門の子也此作も出来よ同し銘の鍛えより鋒まてしかしふきとも云とす

**國重**
備中國水田住國重ハ治右衛門と号す市之丞弟也此作地鉄細よして銘つ別の作より小鋭よしきたるきれの如し

**國重**
備中國水田住國重ハ太兵衛と号す治右衛門か子也此大擂か弟子也此作地鉄細にしてあく銘高くつよきもの也

**國宗**
二代目越前大掾國宗ハ平九郎と云此作父のあき肌物も有又地鉄細かにて直刃小出来もある也

**國重**
備中國水田住國重ハ八郎左衛門と称す此作ハ大乱よなも出来物又不出来なるもある

**國重**
備中水田於阿州作之と切阿州水田の二代目也此備中の人と違て銘も水田の五左衛門と云備後福山すも住す

**國重**
銘も同し阿州水田の二代目也此作ハ父か作よ重ハ銘のよく有出来も有りて遣しハおよろしき銘も



**國綱**
備中國水田國綱ハ備後三原住大和守か孫也此作地鉄よく又小銘ありてよきしきもの也地鉄ハ作さ方よりよし

**國次**
備後國福山住出雲大掾源國次水田の子ても打ち此作ハ八郎左衛門國重か作の鍛似よりあつ人なる我

**廣隆**
筑前州住藤原廣隆此作地鉄細き松代伊賀守金道か弟子と似て多く見ゆる出来物也又小身のものもある筑前にも住す

**守次**
筑前國福岡住守次此作地鉄つよくして上手なる作白刃して小乱文多く見のよし

**吉種**
信國吉種作之と切同國信也地鉄細かに潤ひある青く小乱文白味し鋭いよしく小銘よして見るもよし

**吉政**
源信國平四郎吉政筑前國人也此作出来同し小乱文ハ多からすよく多し

**吉寛**
筑前國源吉寛此作地鉄細く白有て直刃又ハ乱文も有吉政か乱文の如し也

**吉國**
筑前柳川住鬼塚吉國又同國久留米よも住す此作地鉄細よ白けて直刃ふるし小身のものよてあり又大乱文なとも有

金重
遷陽國衙庄金重 法師にて攝州に一寺を住す 金重とも
切物多く有る故 多作ある事也と呼

祐定
大和大掾藤原祐定ハ備前也 古き事にして其の上強くすくなき也
未だ乱文多も綺麗にして自作し遇怒なるもあるもの也

祐定
河内守藤原祐定ハ一文字を用て打出の上に切物常住人也 此作も古
き物し乱文多の事多し

祐之
小銘に切物山上町大掾祐定備前住人也 其外に他国へ出て 祐山が子也
て数多く外に住して 其後大乱文多 花やか成る物多し

兼巻
加州金沢住人兼巻ハ上作 小松に住す 関の者なり 寛永の初め来り
て代々五郎左衛門と云 寛永比也 今の時節に七代続く 其上より見るべし

重継
加州住藤原重継ハ祖父より切物多く藤井兼の比也 此作地鉄能
きもあり 小銘にして自分の作にて国の重色に出来し 不見事に物有

家忠
若狭住藤原家忠此地鉄細に柾目銘にしてちと銘あり 又ハ
能きもあり 刃は出来てあるも有

宗次
越前住下坂宗次此作柾目銘にて小銘自作くすなかしにて能き
しくもあり下坂の作ありて 世に輝くなり



重行
豊州高田住藤原重行 又四字銘もあり 此作地鉄ちとあらく 匂ハ強く
中直刃細直刃ハ海月指表の上手也 乱文此焼刃ハよろしく

國綱
豊前住人大和守平國綱此作も又同し地金の様なり 肥後に似たる
らすといへとも白ひ強くおし 其の気有は他国の名人也

義行
豊前住人山城大掾藤原義行此作も又同し 上等の方に焼刃
出来て乱やう兼もの有といへとも 直刃よく有てよし

吉行
若狭住藤原吉行此作又若狭国に同し 國行も代々兼光が直刃を能
似せて有 重行よりもおとしかるべし

國平
豊前住人山城大掾藤原國平 其の形ハ同し地鉄細に強くして
小銘白子にて多く 其子乱文者ハよからぬ

貞行
豊前住人大和大掾藤原貞行二代目此作父が作を継て居たる頃の
上手也 都て古事をよしとす 乱文者ハよからず

國行
若狭住人大和守藤原國行此作も同し 其の内ハ磨く焼出
出来て物も乱文の様にハ多くして来けれて銘あり

國隆
山上播磨守國隆ハ豊前森に住す大坂中河内と共につく人也此作も中
よろしくも銘いと能もの能有銘國隆に似す よく出来てあるべし

**吉貞**

豊後住吉貞此作後家の説が目ぬく麁く刃小乱す堅き処あり作をきりて根わるし

**業平**

肥前國住人業平此作地鉄細かに小錵つよく匂深し刃本物ハ上作にも一筆ヶ作のごとくなるもあり

**行平**

紀新太夫と申す河内守源行平此作ハ先祖豊後國の一派にして刃先を知らず少々乱あり乱れ強き作にハ山城系あり

**兼廣**

肥前國住人近江大掾兼廣ハ廣貞が末にて國廣が孫也父ハ上和大掾が作に似たり此又沸出るなどあり

**宗次**

肥前國伊勢大掾宗次此作地鉄細かに小錵匂深く小錵文細直刃多し古作の風有忠吉が弟子につくごとくなれども以前宗次が弟子と見えし

**吉信**

肥前國住人吉信ハ忠吉七代目と申す初代忠吉に習て初代の正慶打廣吉の作ハ兼廣同住にて少し出来るなし

**重國**

文殊重國の二代目九郎三郎と云此作地鉄よきも如くよくして丹の如く撰様錵白き也ての住ハおそりたるべし小錵文多し

**助政**

鈴木太郎左衛門助政ハ助直が弟子津州に住す地鉄細かにして小錵匂有てのたれ丹平にてあれど出来ばへよし此上直刃に物多ハあるべし



**長國**

豫州松山住長國と切地鉄細く小錵匂ありて直刃中乱文にて出来たる物多し

**高綱**

藤原高綱と両字を切作不知なり地鉄細く錵ありて小錵有て匂深し陸奥守輝政が作に似たり上手也

**國林**

居所不知作す國林と二字銘也地鉄細く強く小錵匂深く理在二代目重家に似て物有一書に宗和将に祖國房が始の銘なりと云

**國康**

山本伊勢守藤原國康ハ越前住人也地鉄細かにして小錵匂深く大坂打のごとし錵文丹の上手國風有

**盛國**

和泉守千手院盛國ハ錵文ヶ評のごとく江戸打なりしと地鉄強く小錵匂深し直刃錵文丹にて上手也

**貞秀**

加賀守貞秀居所不知とも作り方丸有鉄斯切しやもあるが小乱地鉄細く錵匂有上手也肥前平戸住人慶長比の人也云々

**忠道**

越前守忠道住所知れず錵あり下なく地鉄細かに小錵荒乱錵有て匂深し上手也一書大坂谷町に住す近藤氏と云々

**國博**

其所知らず國博作と二字に切地鉄細かに強く上手也下坂の國博と同人歟此銘の違ひ似たり

吉家
加州住藤原吉家作と切 地金強く古手にて白深く刃ちかく匂深く
刃違乱文有住ありて取分作物多し
白ひ深く吉の吉家と同し

吉家
賀州金沢住藤原吉家作と切 吉左衛門作とも切地鉄古きあり
加州兼若作と切 吉家作は地鉄細かにして匂深く乱刃文何にても
作物多し或云兼若作同人也と

信照
伯耆守信照ハ地鉄細にして少し白深く乱刃多し 刃文何にても可

廣信
伊藤桜左衛門廣信又ハ住藤河内守或ハ大和守廣信共切 紀州ニも
住す 備前の住人也 地鉄細に沸匂深く 山城長ニ住し似たり

包宗
和州住藤原包宗と切 左鉄ニして中心にまで地鉄にて強くして
少し乾き不し あし錆ぬけし其物也

包明
大和國包明と切 或ハ来和州住藤原包明と切左鎬也 此作も古く同
し大坂新代包宗ハ鍛より陸奥守と切 しも有

包守
南部文殊藤原包守作と切 豊後大坂新代信濃守弘包の
つくや二代目包守ハ長兵衛と称す 二字銘多し

貞重
貞重ハ尾張國住人也 地鉄細に少し錵多く白深し 少錵
文兼重に似たり

守正
千手院和泉守源守正住と切 武州住人也 地鉄強くして少し乾
き小錵ありて乱白青て小シ多し

清平
相州小田原八幡山住辻村清平ハ本国加賀国にて家平景平等
の一族江戸にても打しや本様せると云

義行
豊前高田住藤原義行 地鉄細に底匠く上ハ古しけて古貴
本物多し 焼刃ハいかし 可や

統行
豊前高田住藤原統行 此作古より同し 此匂ても焼刃小乱文あも
すへ何にもきる紀州ハ多く貴ます作物多し

宗安
肥前國住人源宗安 小鋩住地鉄細にして小錵白深く小乱文井匂小出
来物多し 伊藤ちつくし加ん

菊平
紀州国伊賀守源菊平或ハ法橋伊賀守の道菊平或ハ伊賀守源菊平とも
切菊平とも切菊平ハ出来のへとし

國義
日州和田住正忠源国義ハ大坂国平か子 和泉守兼打地鉄細に小錵
すりひて父國平に似て少し弱き物也

國次
法橋来国次の道寿徹紀後国の住人也 此住ハ肥後一国まての上
手也 来国次とも切 何もの国まり来りたるなるらん

## 長綱

摂州大坂一竿子忠綱ヵ門人なり世に龍彫とあし名を経則上の
弟弘幸其次也前に説を述たり故に爰に出さす

新刀辨疑巻之二終